

<著者と語る・サイエンス読書カフェ 03 月 26 日>

「風になった優ちゃんと学校給食」

20 年を迎えた「全国学校給食甲子園」のねらいは？

「日本の学校給食制度は、世界に誇る日本のソフトパワーです」

著者の馬場錬成さん(21 世紀構想研究会理事長)は、1997 年から文科省の学校給食関連の審議会委員を務め、日本の食育教育を見守り続けてきました。2006 年、学校栄養士、調理員が脚光を浴びるコンテスト「全国学校給食甲子園」を立ち上げました。毎年、全国から 1000 以上の学校給食施設からの応募があり、深紅の大優勝旗の争奪をめぐる劇的な大会になっています。

「人口1億人以上の国で、日本のように児童・生徒に学校給食を支給している国はありません。栄養素の摂取基準を守って育ち盛りの子どもの栄養管理・健康を保持する給食は、肥満児をなくし生活習慣病の予防にもなっています」(馬場錬成さん)

学校給食はいまも進化し、毎日、自治体のネットなどで紹介されているおびただしい学校給食は、献立も美味しさも、レストラン顔負けです。カフェでは、この学校給食をテーマに考えます。学校給食甲子園のサイトです：<https://kyusyoku-kosien.net/>

日時;2025 年 03 月 26 日(水)午後 6 時 15 分から

場所;東京・大手町、読売新聞本社 3 階、新聞教室(地下鉄・大手町駅 C-3 出口)

今回も、会場と、オンラインの両方を使って開催します。

参加費;会場 2000 円、オンライン 1800 円

問い合わせ;よみうりカルチャー大手町スクール事務局 (03-3642-4301)

(会場) <https://www.ync.ne.jp/otemachi/kouza/202501-18011601.htm>

(オンライン) <https://www.ync.ne.jp/otemachi/kouza/202501-18011602.htm>

